

グローバル教育協定の 構築

LOCALからGLOBALへ

ガイド



ORIENTATIONS フェーズ

学校・中学校・高等学校・大学・NGO、・グループ、・団体



教皇は私たちに、さらに厳しいことをするように求めています... 自分自身から、そして国境を越えて行くこと... できるだけ多くの人や組織と関わること... 一緒に働くことで、私たちがどれほど団結しているかを発見し、より多くの、より良いサービスを提供することができるでしょう... 世界が必要としている希望を与えましょう (pp. 10-11*).

フィリップ・リチャール氏 (カトリック教育国際事務局事務局長)



より広く、よりグローバルな視点を持つためにはどうすればいいのか。互いの特異性を認め合うミーティングフォーラムを開催する。様々な教育機関 (学校、家庭、教会、自治体、企業など) を統合する重要なアクションと具体的なダイナミズムを計画する。地域に密着した「フルタイムスクール」のモデルを推進する。同じ都市の教育的現実をつなぐツールとして、「教育する都市」のモデルを進めること (p. 229*).

ペドロ・アグアド・クエスタ (敬虔な学校の騎士団総長)。USG-SISG教育委員会の会長



信徒のミッションという特定のビジョンから、教会のミッションというグローバルなビジョンに移行する (転換)。各会衆は、そのカリスマからの使命に応じて歩んできましたが、会衆間の連携を求めることはありませんでした (p. 220*).

マリア・イザベル・モラサ・ヘラン 教育修道会宣教姉妹会総主事



もう一つ、直面し解決すべき大きな問題は、教育プロセスを麻痺させている現在の家族と学校の間での対立です (p. 255*).

フランчесコ・トヌッチ (CNRのISTC)。プロジェクト「La città dei bambini」を担当

*書籍「Lights for the Way」への寄稿。グローバル・エデュケーション・パクト。みんなの、みんなと、みんなのための教育を目指して。Towards a more fraternal, supportive and sustainable society” (Juan Antonio Ojeda Ortiz, Manuel Jesus Ceballos Garcia and Beatriz Ramirez Ramos, 2020)です。ダウンロードは以下のサイトから可能です：
www.e-sm.net/207401_01



家族が教育し、教会が教育し、スポーツクラブが教育し、隣人が教育する。すべての人、コミュニティのすべてのメンバーは、潜在的に教育者であり、学習者である。コミュニティと学校は別個の存在ではない (p. 251*).

ダニエル・エルネスト・スティリアーノ (Scholas Chairsプログラムのコーディネーター)



私たちは、啓蒙と納得を得るために、事実、証拠から出発しなければなりません。すでに多くの国で実施され、満足のいく結果が得られている教育イノベーションの結果を知るとは、とても重要なことだと思います (p. 267*).

モンセラット・デル・ポゾ・ロセーロ (ナザレの聖家族の宣教者姉妹修道会総主事)



教育とは、常に共同参加と変革を誘う希望の行為なのです。今こそ。若い世代のために、そして若い世代と一緒に、家族、地域社会、学校や大学、機関、宗教、政府、人類全体を巻き込んで、成熟した人間を形成するための世界的な教育協定を結ぶべきです。

教皇フランシスコ、教育に関するグローバル・コンパクト会議、2020年10月15日



これは、私たちがどのように未来を築いているかについての対話への招待であり、教育への情熱を新たにするためのものであり、「より友愛に満ちた人類」の主人公を形成するためのものです。プロジェクトの可能性や具体的な展望を解き放つことができます... 相乗効果やコラボレーションネットワークを生み出すことができます... 私たちは責任を持って新しい状況に立ち向かい、協力し合わなければなりません。パンデミックのために延期されたことで、協定の視野を広げ、より重要な範囲を与えることが可能になったのではないかと (pp. 28-32*).

アンジェロ・ヴィンチェンゾ・ザーニ (カトリック教育修道会会長)

教皇フランシスコは、「グローバル教育協定」の発足に向けたメッセージの中で、「人間関係の構造を再構築し、より友愛的、公平的、支持的な人類を創造することができる成熟した人々を形成することを視野に入れて、幅広い教育同盟を達成するために努力を結集する」ことがいかに緊急かつ必要であることを示しました...「地球の住民と、私たちが配慮と敬意を払うべき共通の家との間の同盟」[...]「地球の住民と、私たちが配慮と敬意を払うべき共通の家との間の同盟」。国連やその他の機関が策定した目標やターゲット、そして一部の国による重要な努力にもかかわらず、世界の人口の間で教育は依然として不平等である」と述べています。

私たちは、ローカルからグローバルまで、「誓い」を促進し、共に築き上げるためにあなたを招待します

ここでは、このアライアンスをどのように活用するかについてご提案します。私たちは、各インスティテューションが柔軟に対応しなければならないいくつかのフェーズとアクションを特定しました。最後に、私たちは、自分自身、社会、生活環境、そして神との関係を向上させる新しい教育の現実を織り成すために、実行したプロセスと達成した結果を共有することをお勧めします。協定はまだ成立していません。一緒に頑張りましょう。



このような村では、人間を構成するすべての要素の間の同盟の担い手である教育のための世界的な収束を見つけることが容易です[...]私は、共通の教育協定を通じて、歴史に意味を与え、それを肯定的な方法で変換するようなダイナミクスを共に推進し、奨励することをお勧めします

教皇フランシスコ、2019年9月12日の「グローバル・エデュケーション・パクト」発足に向けたメッセージ

私たちは、勇気を持って、出身国で教育プロジェクトに命を捧げ、最高のエネルギーを投入し、市民社会と協力して創造的で変革的なプロセスを開始したいと考えています。

教皇フランシスコ、協定再締結の会合、2020年10月15日



ユネスコは、教育を社会の再構築の柱とするために、人間、人間の共感、人間の尊厳を中心に据えています

オードリー・アズレー（ユネスコ事務局長）、協定再始動のための会議（2020年10月15日）



7つの基本提案



すべての公式・非公式の教育プロセスの中心に人、その価値、尊厳を置き、その人の固有性、美しさ、ユニークさを引き出すと同時に、他人や自分を取り巻く現実との関係を築く能力を引き出すこと



子ども・青少年・若者の声に耳を傾ける。



女子および若い女性の教育への完全参加を促進する。



家族が最初の、そして不可欠な教育者であること。



最も弱い立場に置かれ、疎外されている人々に心を開いて、歓迎するための教育を行います。



経済、政治、成長、進歩を理解する別の方法を見つけるための研究に専念することで、統合的なエコロジーの観点から、人間と全人類のために真に役立つようにすること



私たちの共通の家を守り、育てていく。

教皇フランシスコ、教育に関するグローバル・コンパクト会議、2020年10月15日

カトリック教育修道会は、公式教育や非公式教育のさまざまな状況において、これらの7つの公約を反映させ、構築し、実現するために、私たちを鼓舞し、実現に向けて関与するための手がかりとなる「ヴァデメカム」を発行しています。これを参考にして、一緒に取り組みましょう



何のために？

このガイドラインとフェーズは、より人間的で、友愛的で、支持的で、持続可能な教育のために、この「世界教育協定」に参加し、他の人々と共同で作成することを望むすべての善意の個人および機関に向けたものです。私たちが提案する目的のいくつかをご紹介します。

人々を大切にし、世界を改善するための「プロアクティブ・スクール」の実施として、教皇フランシスコが提唱する「グローバル・エデュケーション・パクト」の意味と目的を知ること。

教育機関自身が置かれている状況から、協定の必要性和緊急性を理解する。

あなたの教育的、社会的、環境的な現実において、何が最も緊急であり、何を実践することが可能であるかを分析し、議論する。

特定された基準と行動に優先順位をつける。

これらの基準や行動のいくつかを実行し、実験してみましょう。

変革のためのプロジェクト、協力的なネットワーク、学校で提供される教育の改善を共に創造し、発展させる。



何をすべきか？スポットライト、テーマ

GENERATIVE QUESTIONS: 夢や希望、実現可能なユートピアを誘発する。例より良い、効果的な教育をイメージするにはどうすればいいのか？統合的（頭、心、手）な教育をするには？未来に向かって開かれ、献身的で変化に富み、すべての人に奉仕し、地域社会、人類に貢献するための教育をどうやって育むことができるでしょうか。

教育共同体の様々なエージェントが、協定に関連する様々な文書を研究し、様々なグループワークのダイナミクスを使用して、構成されたミーティングを行うかどうか。

REFLECTION, STUDY AND EXTRACTING CRITERIA AND ACTION from *Instrumentum laboris*, by Congregation for Catholic Education, in face of the covenant.

また、教育協定を提唱している機関や個人からのその他の文書や寄稿物もあります。書籍「*Lights for the Road*」のご紹介です。グローバル・エデュケーション・パクト。みんなの、みんなと、みんなのための教育を目指して。Towards a more fraternal, supportive and sustainable society（より友愛的で、支持的で、持続可能な社会に向けて）」は、議論や改善のための提案に多くの光を当てることができますが、それらを特定し、文脈に沿って説明する必要があります。

教育機関自身、そのエージェント、歴史、それを取り巻く社会的、文化的、環境的な現実の心の中にある強さ、夢、希望から生まれるものです。

教育に関するグローバル・コンパクトの構築



どうすればいいの？

オープンスペース (ハリソン・オーウェン、他)

これは、より協力的で参加型の空間を作り出すことであり、小規模または非常に大規模なグループが短時間で、中心テーマ（サブテーマに分解可能）に沿って最高のアイデアを生み出すことを可能にします。中心となるテーマがセンターの人や専門家によって紹介され（15分）、サブテーマが提案されて明確になり、各人にサブテーマが割り当てられる（45分）が、このサブテーマは会議中に自由に変更することができる。

DESIGN FOR CHANGE (キラン・ビル・セティ)

これは、人々が主体的に行動し、個人的な現実や社会的・環境的な状況の変革と改善に取り組むことを可能にする方法論です。3歳以降（子ども、若者、大人、シニア）は、教育的、社会的、環境的な環境の問題や強みを特定し、他の人と一緒に解決策を生み出すことができます。すべての変革プロジェクトやストーリーは、次の4つのシンプルな段階で構成されています。「ニーズ、問題、希望を感じる」、「新しいソリューションを想像する」、「行動して変革を構築する」、「変革ストーリーを共有して他の人に伝わり、刺激を与える」。それは、課題を特定し、批判的、創造的、協力的な方法で対処し、協定、教育の向上、人々や社会、「共通の家庭」の改善を可能にする最も実現可能で緊急性の高い解決策を提案することで構成されています。

APPRECIATIVE INQUIRY (Miriam Subirana et al.)

これは、人々を巻き込んで、「パワフルな質問」を通じて、うまく機能しているものを発見し、それを維持・発展させ、教育機関が提供するサービスを更新・改善していくプロセスである。ソリューションはコミュニティから生まれる。それは、人を信じ、信頼することです。問題を診断するのではなく、希望や夢、ビジョンを問うこと、「現状」を検討するのではなく、「あるべき姿」を提案すること。各人が一人ずつ、次にペアで、さらに大きなグループで、そして最後に全体で全員に向けて話すというものです。

グループダイナミクス

Phillips 66;ブレインストーミング;ブレインストーミング;ガイド付きディスカッション;テクニック6.3.5;など

DRAGON DREAMING」 (ジョン・クロフト

ドラゴンドリーミングは、ガンジー、パオロ・フレイレ、カール・G・ユング、ジョアナ・メイシー、スコット・ペック、アーノルド・ミンデル、マーシャル・ローゼンバーグなどの偉大な変革者たちの貢献や概念、さらにはディープエコロジーやオーストラリアのアボリジニーの祖先の知恵などの知識を導入し、プロジェクトマネジメントとシステム的な理論をミックスしたメタ方法論です。このようにして、この方法論は、生活のあらゆる側面において持続可能性を考慮したプロジェクトの統合的なデザインを促進します。

この方法論は、個人、グループ、プロジェクト、組織に適用できます。4つのステージで構成されています。Dream (夢)、Plan (計画)、Act (行動)、Celebrate (祝賀)、この4つのステージを細分化し、パターンを繰り返すことで、合計12のステージを構成しています。ターンが達成され、祝賀の最終段階に達したとき、そこには反省と祝賀の瞬間があります。

GROW MODEL (ジョン・ホイットモア

GROWモデルは、問題解決、目標設定、結果重視を基本とした構造化された手法で、ビジネスやエグゼクティブ・コーチングなどの世界で最も使われている手法の一つです。GROWモデルは4つのフェーズに分かれており、4つの質問を提案することで、個人をゴールへと導きます。これらの質問は、あらかじめ決められた順序で行われます。最初のセッションでは、この順序を尊重することで、人々がスレッドを追いやすくなり、ゴールに到達するための各ステップを探ることができます。次回以降のセッションでは、順番を変えたり、特定のフェーズを選んで探ったりすることができます。



どこでインスピレーションを得るか？ソース - ドキュメント

- 教皇フランシスコの召集令状 2019年9月19日： www.e-sm.net/207401_02
- グローバル・コンパクト・オン・エデュケーション： www.e-sm.net/207401_03
- 教育のためのグローバル・コンパクト」の公式サイト： www.e-sm.net/207401_04
- 教皇フランシスコのビデオメッセージ（2020年10月15日、条約再締結のための会議にて）：
www.e-sm.net/207401_05
- 書籍「Lights for the Way」。グローバル・エデュケーション・パクト。みんなの、みんなと、みんなのための教育を目指して。Towards a more fraternal, supportive and sustainable society（より友愛的で、支持的で、持続可能な社会に向けて）」とあります：www.e-sm.net/207401_01
- UISGセミナー：グローバル教育協定：友愛と持続可能性の中での教育の機会（2020年11月17日）：www.e-sm.net/207401_06
- OIECのグローバル・エデュケーション・コンパクトへのコミットメント（2021年2月25日のウェビナー）：www.e-sm.net/207401_07
- 2020年10月15日に開催されたGlobal Education Pact Reactivation Meetingでのインターベンション：www.e-sm.net/207401_08
- 回勅『Laudato Si'』と『Fratelli tutti』：www.e-sm.net/207401_09；www.e-sm.net/207401_10
- 持続可能な開発目標、UN Goals 2030：www.e-sm.net/207401_11



フェーズ1

センター自体に「誓い」を立てる

学校、●中学校、●高等学校、●大学、●NGO、●グループ、●団体



教育を改善するためには、学生に提供するライフプログラムを再考する必要があります。それは、誰も垣間見ることができない曖昧な未来において、変化と変革の積極的な担い手として学生を教育し、より友愛的で公正で支持的な世界のために働く能力と勇気を備えた地球市民となる必要があります。したがって、今日、これまで以上に、教育することは、ケアの倫理、絆と関係の構築、友愛、そしてグローバルな課題を解決するための知識とスキルの開発（認知的・メタ認知的、对人的・对人的）を柱とした、意味のあるシティズンシップに向けて、潮の流れに逆らって泳ぐことなのです (p. 245*).

SM社の教育担当コーポレート・ディレクター、アウグスト・イバニェス・ペレス氏。
スペイン

誰と？

グローバルな「教育協定」の構築には、まず教育機関自身から始め、そのエージェントであるコミュニティ全体を巻き込むことが重要です

- 細分化された方法で開始することは可能であり、様々なAGENTが別々に反射や検索に関与します。
- その後、あるいは最初から、この反省と探求は、異なるAGENTを混合してアプローチすることができます。
- これは、時間をかけて計画された、構造的、体系的、進歩的な会議であり、研究や議論を行い、参加して、基準や行動を特定して、一緒に協定を構築するためのものです。
- しかし、より自由で自然な形で、時折、単独のミーティングを行うこともあります。また、これらの会議から、考慮すべきガイドラインや基準を抽出し、実践し、実験し... 実践から学ぶこともあります。

例えば、鉛筆を真ん中に置く、紙を回転させる、1-2-4...、ノミナル・グループ、ワード・ゲーム、サック・オブ・ダブレット... などの協力的なテクニックを使うことができますし。

重要な活動のひとつとして、センター内にラーニング・コミュニティを創設し、参加を促し、教育と共存のあり方を変えていくことが挙げられます..... また、自らの実践を振り返ることで、教育関係者のトレーニングも行っています。もっと知りたい方は：
www.e-sm.net/207401_12.

フェーズ2

街の他のセンターとの契約を構築する

学校、● 中学校、● 高等学校、● 大学、● NGO、● グループ、● 団体



各カトリック学校は、自治体、教育センター、協会、組合、政党など、地域レベルで招待しなければならない。それぞれの地域で、すべての人に教育を保証し、同じ地域で教育を再生する力に変えるようなダイナミックさを生み出すために、この協定を地域規模で再現する必要があります。

Cristobal Lopez (ラバトの枢機卿兼大司教、l' Enseignement Catholique au Maroc会長)

誰と？

この第2段階では、学校の枠を超えて、近隣、地区、市の他の教育機関に会いに行き、一緒に活動します。教育協定の必要性と緊急性について考え、夢と希望を共有し、参加するセンターで実施するいくつかの基準とプロジェクトについて合意します…。理論から学ぶだけでなく、実践からも学ぶ

- 子どもや若者、教師、役員、家族、その他の協力者など、近隣や都市のさまざまな教育機関の関係者が、同種または異種のグループに分かれて、さまざまなタイプや形式のミーティングを行います。
- 他のカトリックまたは非カトリックのセンターと、施設内または他者と、地域の幼稚園、高校、または大学の学校と。
- 構造化され、計画され、進歩的なミーティング、あるいは散発的で時間通りに行われるミーティング...それは他のものを生み出す可能性があります。
- ある日の午後、または土曜日の午前中に。
- フォーマットをご紹介します。共に生活する「出会い」、「オープンスペース」、議論のための十分な時間を設けた「ラウンドテーブル」、「ワークセミナー」、「提案された方法論とダイナミクス」など。
- 学校、教師、その他のアクターのネットワークを作り、活動する。
- ネットワーク型教育センター。



フェーズ3

コミュニケーションとの契約の構築

学校、● 中学校、● 高等学校、● 大学、● NGO、● グループ、● 団体



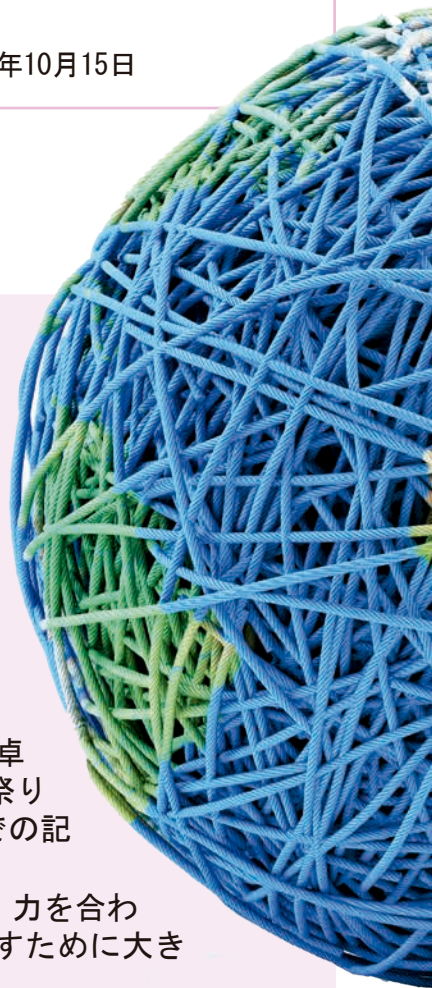
私たちは特に、世界中の文化、科学、スポーツに携わる男女、芸術家、メディア関係者に呼びかけます。彼らもこの協定に署名し、その証言と活動によって、配慮、平和、正義、優しさ、美しさ、他者の受容、友愛といった価値観の推進者となることを目指します。統治者に全てを期待する必要はありません、それは子供じみています。私たちは、新しいプロセスや変革を起こし、生み出すことができる共同責任の空間を楽しんでいます。私たちは、傷ついた社会の復興と救済に積極的に参加しましょう。

教皇フランシスコ、教育に関するグローバル・コンパクト会議、2020年10月15日

誰と？

- 自治体では、村、地区、隣人、市。
- さまざまな分野の人々と：教区やその他の教会（シナゴグ、モスクなど）、隣組など、NGO、政党、市長や評議員、スポーツ選手、文化人、ビジネスマン、アーティストなど。
- 構造化され、計画され、進歩的なミーティング、あるいは散発的で時間通りに行われるミーティング... それは他のものを生み出す可能性があります。
- 分離または混合セクターによって
- インタビュー、小グループや大グループでのミーティング、円卓会議や討論会、一緒に夢を見たり希望を分かち合ったりするお祭りのようなイベント、地元の出版物や地元のラジオやテレビ番組での記事など、さまざまな形式のミーティング。
- CITIES THAT EDUCATE（教育する都市）」の国際的な動きを知り、力を合わせて、より人道的、友愛的、支持的で持続可能な状況を生み出すために大きな影響力を持つ教育の改善に合意することができます。

教育を受けた都市とは？教育を行う都市をめぐる2つの世界的な取り組みを簡単にご紹介します。それぞれのウェブサイトをご覧になれば、自治体から「世界教育協定」を構築するために取り組むべき課題に触発されることでしょう。



ラーニング・シティ

私たちは、都市やコミュニティのすべての住民である市民をエンパワーするためには、生涯を通じてあらゆる学習の機会を提供し、利用することを奨励しなければならないことを確認します。私たちは、学習が生活の質を向上させ、市民が新たな課題を予測して対応する力を与え、より良い持続可能な社会を構築するのに役立つと信じています...

私たちは、「学習するコミュニティ」、「学習する都市」、「学習する地域」が持続可能な開発の柱であることを確認します...私たちは、都市が社会的包摂、経済成長、公共の安全、環境保護を促進する上で重要な役割を果たしていることを知っています...

学習する都市は、個人のエンパワーメントを促進し、社会的結束力を高め、市民の参加を促し、経済的・文化的な繁栄を促進し、持続可能な開発の基盤となることを想定しています。学習する都市とは、あらゆる分野の資源を効果的に動員し、以下のことを実現する都市です。基礎教育から高等教育まで、インクルーシブ・ラーニングの推進 家庭や地域での学びの活性化 職場での学習を促進するために 新しいテクノロジーを使った学習を拡大する 学びの質と卓越性の向上 生涯学習の文化の醸成。

UNESCO Global Network of Learning Cities, Guiding documents, 2015



都市の教育

教育は学校の壁を越えて、街全体に浸透していきます...その絶え間ない目的は、学び、革新し、共有することであり、その結果、住民の生活をより安全で尊厳のあるものにし、豊かにすることです...。教育都市は、従来の機能（経済、社会、政治、サービスの提供）と並行して、教育機能を発揮し、発展させなければならない。いつでも、生活のあらゆる場面で、あらゆる年齢層の人々のトレーニングニーズに応えるために、トレーニング、プロモーション、開発を視野に入れなければならないのではないかと？ 正規の教育機関と、ノンフォーマル（正規の教育以外の意図的な教育）およびインフォーマル（意図的でない、計画されていない）な介入を行っている教育都市は、経験の交換を実現するために、二国間または多国間で協力することになります

国際教育都市協会「教育都市憲章」の前文

詳しくはこちらをご覧ください:

www.e-sm.net/207401_13 www.e-sm.net/207401_14

www.e-sm.net/207401_15 www.e-sm.net/207401_16

第4段階

国や国際的なレベルでの誓いの構築

学校、● 中学校、● 高等学校、● 大学、● NGO、● グループ、● 団体



地球の住人と、私たちが配慮と敬意を払うべき「共通の家」との間の契約です。人類家族のすべての人々の間に平和、正義、受容をもたらし、宗教間の対話を実現するための契約。

教皇フランシスコ、2019年9月12日の「グローバル・エデュケーション・パクト」発足に向けたメッセージ

誰と？

この段階では、国内外の教育機関のネットワークに組み込まれた学校とそのエージェントが、「世界教育協定」の達成に向けて、共同で、あるいは他の団体と協力して活動します。

- 彼らは、国内または国際的なネットワークに参加または作成し、共に考え、共通の基準や行動に合意し、それを実践することを約束します。
- 彼らは、経験から学ぶために実践する改善プロジェクトを作成または共有し、他の人にも参加を促し、感染させて、国内または国際的な変化と改善のネットワークを構築します。
- 教育の質を向上させるために、各国政府に影響を与えたり、調整したりしていません。
- 教育はすべての人のための問題であり、誰も排除されないというモットーのもと、国内または国際レベルで、他のエージェントや文化的、経済的、政治的、宗教的、労働組合的、スポーツ的、社会的、環境的な運動と議論し、コンセンサスを求め、協力しています....
- すべての人に質の高い、公平な教育を提供するために、ソーシャルネットワークやメディアを活用する。
- 個人的で競争的なパラダイムをコラボレーションのパラダイムに変えるのです。また、教師が資源の乏しい村や地域に赴き、カリキュラム、方法論、組織、トレーニングなどの変更を支援することも可能です。
- 地域、国内、国際的なネットワークへの参加。

シェアからインスパイアへ

各教育機関は、この教育同盟を再構築するために、複数のアクションを実行することになるでしょう。私たちは、真に刺激的なものを共有し、人々を啓発し、感染させ、革新的で創造的なプロジェクトに命を与えるために、あなたを招待します。プロセス、成功したコール、プログラム、合意された基準、共同で作成・実施されたプロジェクト。



プログラムやプロジェクトを共有することで、6つのテーマ領域に分類しています：

1. Dignity and human rights
2. 友愛と協力
3. テクノロジーとインテグラルエコロジー
4. 平和とシティズンシップの教育と促進
5. 文化・宗教
6. 雑感（その他の話題）

フォーマットで送る

- ビデオ要約、3～5分.
- ブログ用の文章で.
- ポキャズド.

Where to share them?

郵送先： pactoglobal@lasallegampus.es 、ご質問
やご意見は、 ja.ojeda@lasallegampus.es 、また
は下記までご連絡ください。Beatrice Linn
secretary@oiecinternational.com .





私たちが生きているパンデミックの時代は、私たちが人間という生き物であり、壊れやすく、傷つきやすい存在であることを自覚することが急務であることを改めて確認させてくれます。私たちは相互に結びついた一つの大きな家族を形成し、お互いに依存しています。このため、私たちは友愛を人間学的な次元で捉えること、つまり、他者を兄弟姉妹として迎え入れ、愛し、責任を負い、共通の尊厳の完全な平等を目指して共に働くことを求められているのです。私たちは創造という仕事を任されており、生命は私たちに与えられています (p. 235*).

Yvonne Reungoat, mother general of the Institute of the Daughters of Mary Help of Christians

2

現在、2億6,000万人以上の子どもや若者が学校に通っておらず、6億人以上が読み書きや算数の最低限の能力さえ持っていないことを考えると、私たちには選択の余地も時間もないことがわかります。この学習危機を無視して無策でいたり、バラバラのプログラムで対処しようとする余裕はありません。多くの信仰や文化を持つ人々が、違いや境界線を超えて、地球村として連帯し、世界の学習貧困に対処するためのコンパクトを構築することが緊急に必要です。私は、協定への抵抗を克服するための最良の戦略があるとすれば、それはすでに協定の提案の一部となっているものだと考えています (page 230*).

Robert Schieler, superior general of De La Salle Brothers

210999



8 435240 571034



fundación sm